



はらじゅくかわら版

独立行政法人 国立病院機構

横浜医療センターの理念

私たちは人権を尊重し、思いやりの心をもって安全で納得していただける**患者中心の医療**を目指します。

私たちは、急性期の地域医療を基盤として質の高い総合的な専門医療を提供するとともに、関係医療機関と密接な連携をもつ**地域完結型医療**を目指します。

私たちは、健全な病院経営を心がけ、患者の皆様がより良い医療を受けられ、**地域で選ばれる病院**になるべく日々努力していきます。



4月から完全紹介制に移りました



お陰様で卒業できました

第52回期卒業生一同（横浜医療センター附属横浜看護学校）

第56号 目次

★重要なお知らせ★	1
4月から横浜医療センター受診の際は必ず紹介状が必要になります!!	
特集 ー医師が語る疾患ー	2
第15回 糖尿病網膜症について	
眼科部長 木村 正彦	
連載	
職員リレー紹介 第14回 リハビリテーション科	3
お知らせコーナー	
手術室8番を増設しました!!	4
看護学校卒業生からのメッセージ	5
看護学校新入生からのメッセージ	5
地域医療連携	6
外来担当医表／編集後記	7



発行 月：平成29年4月
 発行 行：独立行政法人国立病院機構
 横浜医療センター 広報委員会
 発行責任者：平原 史樹
 住所：横浜市戸塚区原宿3-60-2
 電話：045-851-2621
 FAX：045-851-3902
 URL：http://www.yokohama-mc.jp



●当院携帯サイトはこちらから

★ 重要なお知らせ ★

4月から横浜医療センター受診の際は 必ず紹介状が必要になります!!

横浜医療センターは、地域医療の中核を担う病院として、地域の病院や診療所からの紹介を受け、高度で専門性の高い医療を行うことを役割としていますが、この4月3日(月)から、横浜医療センター受診の際は、全ての診療科で、必ず地域の病院や診療所からの紹介状が必要になります。

当院受診の際に紹介状をお持ちでない場合には、地域の病院や診療所での受診をご案内させていただきます。

なお、「精神科」「乳腺外科」については、紹介状とともに事前の予約が必要です。また、「分娩」については、当院地域医療連携室にお問い合わせ下さい。

当院受診後、病状が安定された際には、改めて、地域の病院や診療所をご紹介させていただきます。

ご理解・御協力の程、何卒宜しくお願い申し上げます。



独立行政法人 国立病院機構

横浜医療センター

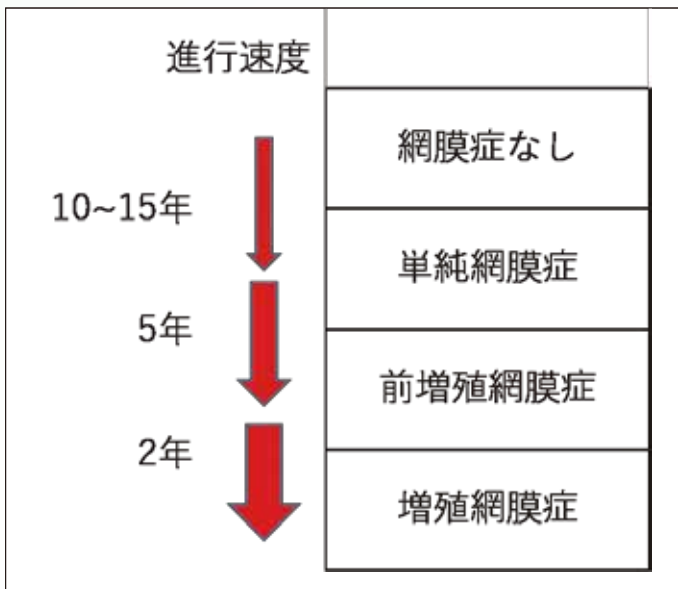
特集－医師が語る疾患－

第15回 糖尿病網膜症について

眼科部長 木村 正彦

糖尿病網膜症は放置すれば失明することもある怖い病気です。日本では失明原因の2位で年間約3000人が視力障害の認定を受けています。以前は1位でしたが、治療技術が向上したおかげで2位になりました。

糖尿病網膜症には軽症の「単純網膜症」・中等症の「前増殖網膜症」・重症の「増殖網膜症」という3つのステージがあります。



糖尿病になってから10~15年くらいで「単純網膜症」を発症します。自覚症状はなく、網膜に小さな出血が見られる程度です。この段階では血糖コントロールを改善すると網膜症が消えることがあります。

単純網膜症から5年くらいで「前増殖網膜症」に進みます。網膜は虚血状態になっており、今

後さらに悪化することは必然となります。この段階でも自覚症状はありませんが、悪化を防ぐために「レーザー治療」を行います。レーザーで虚血状態の網膜を焼いてしまうことで網膜症の進行を抑えます。レーザーにより視力が下がってしまうことがありますが、これをやっておかないと高確率で次のステージへ進みます。

レーザー治療が間に合わなかった人は「増殖網膜症」に進みます。前増殖網膜症から2年くらいで発症します。この段階まで来ると網膜から出血し目が見えなくなり、網膜の上に異常な膜が張って網膜剥離をおこし、放置すれば失明してしまいます。治療は「硝子体手術」です。この手術でできることは、出血や異常な膜の除去、網膜剥離の整復、レーザーの追加などです。近年この手術の機器などが格段に進化したので失明する患者が減少しました。しかし治療が間に合わなかった場合は失明してしまうことがありますので、適切なタイミングで手術をしなければなりません。

以上のように何もしなければどんどん進行し失明する糖尿病網膜症。血糖コントロールが悪いほど進行は速くなります。何も症状がないからと言って眼科で検査を受けないでいると、治療の時機を逃してしまうかもしれません。糖尿病と診断されたら内科で血糖コントロールすると同時に、かかりつけの眼科で定期的に経過観察していくことが重要です。

第14回 リハビリテーション科

こんにちは、リハビリテーション科です。リハビリテーションは、薬剤・検査・放射線科などと違い、外来や入院患者さんが必ずしも関わる科ではないため、あまりご存じではない方もいらっしゃるかもしれません。当院のリハビリテーション科は、エスカレーターを上ってすぐの2階にあります。

リハビリテーションと一口に言っても、いくつかの部門に分かれているのをご存知でしょうか？当院では理学療法部門・作業療法部門・言語聴覚部門と3つの部門から構成されています。それぞれが専門性のある分野であるため、実は大学の学科や国家資格もまったく別々のものになっております。具体的に説明すると、医師の指示の下、理学療法部門は起き上がる・座る・歩くなどの基本的な動作能力の回復を図るために、運動訓練や動作指導、杖などの福祉用具の選定などを行っております。そして作業療法部門は、手や腕などの上肢機能の改善、食事・着替え・排泄・歯磨きや整髪などの整容・入浴動作などの日常生活動作の訓練を行っております。最後に言語聴覚部門では、コミュニケーションに必要な言語機能の訓練や食べる機能などの障害に対して、食事の姿勢・食事の形態・食事の方法などを、評価し指導を行っております。

また当院は急性期病院のため、一般病棟だけでなく集中治療を必要とされる患者さんにも対応しており、ICU（Intensive Care Unit：集中治療室）・SCU（Stroke Care Unit：脳卒中集中治療室）・CCU（Coronary Care Unit：冠疾患集中治療室）などで治療を受けている早い段階から病室でリハビリテーションを実施しております。その後、状態が安定したら2階にあるリハビリテーション室で訓練を行うこともあります。

リハビリテーション科スタッフは、日々治療技術を磨きながら、最終的には、患者ご本人・ご家族を中心に、医師・看護師・栄養士・医療ソーシャルワーカー・退院支援看護師などと連携を図りながら、一日でも早い家庭復帰や社会復帰を目指し、援助していきたいと考えております。



運動療法室：まるでジムのようですね



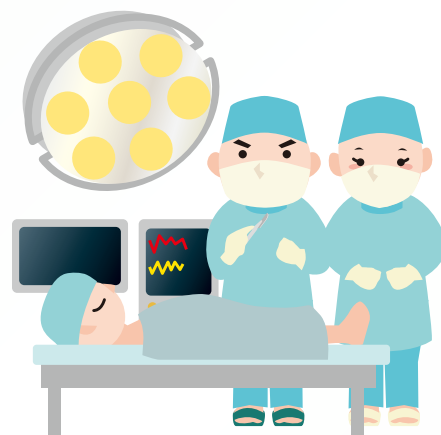
作業療法室：キッチンもあり料理も可能

お知らせコーナー

手術室 8 番を増設しました！！

副院長 鈴木 宏昌

新病院開設の2010年度手術件数は3440件（14件/日）でした。その後手術件数は増加の一途をたどり、2016年度は5084件（21件/日）となりました。本年度も件数は増加傾向です。この件数ですと、手術室7室体制では運営に支障が出る状況となったため、昨年10月より手術室内での増設工事を開始しました。



工事は定時手術が無い土日休日に行い、本年1月に完成しました。横浜市の検査・認可終了後、2月より8番手術室として運用しています。

増設した8番手術室は、他の7室に比較し室内は狭いですが、同等の空調設備や麻酔器、モニター、電子カルテ装置、无影灯等を備え、主に眼科や形成外科等の局所麻酔での手術に使用しています。

早速、運用を開始した2月は369件/月（23.4件/日）という月間手術新記録を達成しました。手術室増室の効果も大きいと考えています。

来年度は脳神経外科、眼科及び耳鼻科で医師の増員が決定しています。増員にあわせ、各種手術機器も整備する計画です。

現在、当院手術室は各科外科系医師、麻酔科医、看護スタッフ、臨床工学技士等の能力も高く、手術成績も良好です。今後も手術対象患者の御紹介をお願いいたします。



鈴木副院長



手術室

お知らせコーナー

～看護学校卒業生からのメッセージ～



～看護学校新入生からのメッセージ～

附属看護学校では、平成29年4月7日（金）第55回入学式をおこないました。
入学生は55回生77名です。どうぞ、よろしく申し上げます。



○雨宮 優花さん（神奈川県出身）

これから3年間、病院職員の皆さま、患者さん、地域のみなさまなど多くの方にお世話になると思いますが、日々勉学に励み、頑張っていきます。よろしくお願い致します。



○伊藤 ほのかさん（秋田県出身）

母と同じ国立病院機構の看護学校に入学できたことを嬉しく思います。3年間頑張ります。よろしくお願い致します。



○中山 希久音さん（神奈川県出身）

看護師さんに憧れて志すことを決めました。実はそのきっかけになる入院先の病院は横浜医療センターでした。だから、附属の学校に入学ができ、嬉しく思っています。今後、自分の良いところをいかして、目標に向かって頑張ります。よろしく申し上げます。



○比嘉 静華さん（沖縄県出身）

はじめまして。こんにちは。はるばる海を渡り沖縄から来ました比嘉と申します。横浜看護学校を選んだ理由は学びたい分野が近くにあったことと、一番は見学会で見た、先生方、先輩方の人柄です。笑顔絶やさない看護師になれる様、3年間一生懸命頑張りますので、ご指導の程よろしく申し上げます。

病診連携施設紹介

みやざわ医院

診療科目：内科／循環器科／小児科／アレルギー科

当院は大和市と横浜市泉区の境に近いいちょう団地で開業しています。小児科内科を中心に、赤ちゃんから大人まで患者さまの病気治療にお役に立てるよう努力しております。

小児科は小児疾患全般に小児心疾患、気管支喘息を含むアレルギー疾患、皮膚疾患（アトピー性皮膚炎、水いぼ、とび火等）、各種予防注射、学童心臓検診等、内科は循環器、気管支喘息、生活習慣病（高血圧、高脂血症、糖尿病）、胃・十二指腸内視鏡、超音波検査（腹部、心臓、頸動脈等）、内科一般、横浜市健康診査・肺がん検診・内視鏡による胃癌検診（専門医により水曜日の午後実施）等行っています。



前列中央 宮沢要一朗院長

開業医は、重症患者の診療入院治療や検査等いろいろな面で病院のお世話になりながら診療をさせて頂いております。横浜医療センターに助けて頂いた症例には、1) ある日曜日興奮状態で行動異常のある10代の女性が来院され時、血液所見では炎症所見は殆ど無く異常行動が主なため紹介病院に迷いましたが医療センターで受けて頂きました。診断は結核性髄膜炎でした。2) 精神障害のある母親が気管支炎を起こした乳児を抱えて受診された時、受付で母親は意識が無くなりかけ、また精神がコントロールできず興奮状態になり午前の外来診療がストップしてしまいましたが、医療センターで母親の診察を受けて頂き外来を続ける事が出来ました。3) 70代の男性で、医院の駐車場に着いた直後運転されてきた車の中で意識が無くなったため、職員とAEDを持って駆けつけました。すぐに医療センターに救急車で転送でき救命できました。その他いろいろと助けて頂き感謝しております。

いちょう団地は昭和48年に建設され境川で大和市側と横浜市側に分かれています。当時は子供であふれていたようですが、少子化の影響で2年前隣接するいちょう小学校は廃校となりました。団地内には外国人特に中国とベトナムの方が多く住んでおります。お年寄りの方は日本語があまり通じず診察に苦慮することもあります。特に中国残留孤児の方は終戦後中国で大変な生活を送られてきましたが、ご高齢で日本語があまり話せず決して日本でも幸福な生活は送っていません。自分はどうかといえは中国語ベトナム語は全く話せません。

開業して25年になりますが、職員一同地域医療に一層貢献できるように努力して行きたいと思っています。今後ともよろしくお願ひします。

みやざわ医院

〒245-0018 神奈川県横浜市泉区上飯田町2670-32

TEL : 045-803-5050

ホームページ : <http://www.miyazawaiin.jp/>

診療時間

	月	火	水	木	金	土	日祝
9:00~12:00	○	○	○	△	○	○	△
15:00~18:00	○	○	○	/	○	※	/

【休診日】木曜・日曜（△）・祝日

※土曜日は午後15時~17時

診療科	受診方法	月	火	水	木	金	備考
外来受付 A	小児科	初診・再診 小児科 小児科	初診・再診 小児科 小児科	初診・再診 小児科 小児科	初診・再診 小児科 小児科	初診・再診 小児科 小児科	初診の場合は、全診療科で紹介状が必要となります。
外来受付 B	総合内科	初診	交代医師	交代医師	交代医師	交代医師	呼吸器内科のみ、4月11日から担当医変更予定
	糖尿病内分泌内科	初診・再診	交代医師	交代医師	交代医師	交代医師	
	神経内科	初診・再診	交代医師	交代医師	交代医師	交代医師	
	腎臓内科	初診・再診	交代医師	交代医師	交代医師	交代医師	
	呼吸器内科	初診・再診	交代医師	交代医師	交代医師	交代医師	
	消化器内科	初診・再診	交代医師	交代医師	交代医師	交代医師	
	循環器内科	初診・再診	交代医師	交代医師	交代医師	交代医師	
	膠原病・リウマチ内科	初診・再診	交代医師	交代医師	交代医師	交代医師	
	外科・消化器外科	初診・再診	交代医師	交代医師	交代医師	交代医師	
	呼吸器外科	初診・再診	交代医師	交代医師	交代医師	交代医師	
外来受付 C	耳鼻咽喉科	初診・再診	初診・再診	初診・再診	初診・再診	初診・再診	・金曜日の耳鼻咽喉科は、初診（紹介状）と予約再診のみとなります。 ・午後の眼科外来は、特殊検査・レーザー治療などを行っています（予約制）。
	眼科	初診・再診	初診・再診	初診・再診	初診・再診	初診・再診	
	泌尿器科	初診・再診	初診・再診	初診・再診	初診・再診	初診・再診	
	皮膚科	初診・再診	初診・再診	初診・再診	初診・再診	初診・再診	
外来受付 D	精神科	初診・再診	初診・再診	初診・再診	初診・再診	初診・再診	・水～金：精神科初診の方は、9時30分までに受付を済ませてください（完全紹介予約制）。
	産婦人科	初診・再診	初診・再診	初診・再診	初診・再診	初診・再診	
	産科	初診・再診	初診・再診	初診・再診	初診・再診	初診・再診	
専門外来	歯科口腔外科	初診	初診	初診	初診	初診	初診：火・木曜日 8:30～10:30。連絡紹介/診療情報提供書。初診患者：紹介医から連絡の上、随時受付。要紹介状/診療情報提供書。再診：完全予約制。再診患者：あらかじめ電話連絡して下さい。
	小児科	予約制	予約制	予約制	予約制	予約制	・小児科の専門外来は、原則として午前中の一般外来を受診の上、予約を取ります。
	神経内科	初診	初診	初診	初診	初診	
	糖尿病内分泌内科	初診	初診	初診	初診	初診	
	消化器内科	初診	初診	初診	初診	初診	
	外科	初診	初診	初診	初診	初診	
	心臓血管外科	初診	初診	初診	初診	初診	
	膠原病・リウマチ内科	初診	初診	初診	初診	初診	
	耳鼻咽喉科	初診	初診	初診	初診	初診	
	産婦人科	初診	初診	初診	初診	初診	

初診 受付：平日 8:30～10:30
再診（予約外）受付：平日 8:30～10:30
休診 日：土曜・日曜日・祝日・12月29日～1月3日

※予約変更・検診の予約については、14:00～17:00の受付となりますのでご了承ください。
(TEL: 045-853-8316)
※急患は随時受け付けます。来院前に病院にご連絡下さい。(TEL 045-851-2621)
※地域医療連携室 TEL 045-853-8355 (月～金 8:30～17:00)
FAX 045-853-8356

お知らせ 色つき部分が変わ箇所となります。ご確認の上受診ください。

◆編集後記◆

記事でお知らせしましたが、本年4月より全ての診療科で紹介状が必要となりました。

弾力的に患者さんに良く理解してもらうことを主に進めてまいりますのでご理解のほどよろしくお願いいたします。

(K・S)